

会 議 録 (1)

会議の名称	平成28年第2回桶川市総合教育会議	
開催日時	平成28年11月28日(月) (開会)午後2時00分・(閉会)午後4時00分	
開催場所	桶川市役所仮設庁舎301会議室	
出席者構成員	小野克典(市長)、水村実男(委員長)、湯浅哲朗、小野原典子、佐藤悦代、前島富雄(教育長)	
欠席者構成員	なし	
傍聴人数	なし	
事務局職員 職名及び氏名	企画調整課・教育総務課・学校支援課・学務課	
議 題	(1)「桶川市の教育の針路について」 ①「学校運営協議会」について ②「各種検定等の表彰」について ③「特別支援教育」について	
	(2)平成29年度桶川市教育委員会の取組みについて	
決 定 事 項 等	(1)「桶川市の教育の針路について」 ①「学校運営協議会」について : 継続審議 ②「各種検定等の表彰」について : 教育委員会定例会において審議する ③「特別支援教育」について : 現状報告	
	(2)平成29年度桶川市教育委員会の取組みについて	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回桶川市総合教育会議次第</li> <li>・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)について</li> <li>・各種検定等について(資料1)</li> <li>・特別支援学級の設置に係る状況(資料2)</li> <li>・平成29年度桶川市教育委員会の取組み</li> <li>・平成28年第1回桶川市総合教育会議の概要</li> </ul>	

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
委員長	平成28年第2回桶川市総合教育会議を開会する。
市 長	<p>1 あいさつ (市長あいさつ要旨)</p> <p>昨今、2つのいじめの問題が大きく報道された。1つめは、福島県からの避難児童に対するいじめ。2つめは、青森県の中学生に対するいじめで、その中学生が被写体となった写真がコンクールでの賞を取消しになったことで、大きく報道された。いずれについても、大変痛ましく、あってはならないことである。行政と地域が連携し、いじめの起きない取組みが必要である。</p> <p>(教育委員長あいさつ要旨)</p>
委員長	<p>市長と同様、いじめの報道は残念でならない。桶川市においては、そのようないじめの報告はないが、もし起こってしまった場合や、未然に防ぐ取組み等、市長の協力のもと解決できればと考えている。</p> <p>小中学校老朽化対策事業として、先行してトイレ改修を4か年で実施することとなっている。子供たちが快適な学校生活を送れるよう、ご協力いただきたい。</p>
(議事)	2 議題
事務局	<p>(1)「桶川市の教育の針路について」(配布資料に基づき説明)</p> <p>①「学校運営協議会」について</p> <p>◎コミュニティ・スクールについて</p>
(協議/ 質疑)	
構成員	<p>市内、小中学校には学校応援団等が組織されており、学校運営協議会を起ち上げる場合の準備はできている。学校を地域住民で支えるという意識が持てるように、しっかりした目標や方向性を見極める必要がある。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	住民の意向が保障されるコミュニティ・スクールには賛成である。現状は、学校により事情が異なり、運営については市内の学校でモデルケースを作って検証することが良いと思われる。
構成員	地域から行政への要請内容の下調べや、地区の取組みの下調べも必要。
構成員	映画「物置のピアノ」の反省会において、学校でも観せてほしいとの意見が多くあった。このような意見が反映される仕組みづくりとしても効果はある。
構成員	国や県がコミュニティ・スクールを推進する背景は。
事務局	<p>国の動きとして、平成27年に「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」が示された。</p> <p>これにより、文科省は「『次世代の学校・地域』創生プラン～学校と地域の一体改革による地域創生～」に基づき、コミュニティ・スクールの推進方策等を実施している。</p> <p>具体的には、①学校を核とした地域活性化 ②地域に誇りを持つ教育の推進 ③学校の適正規模化 等を図ることで、学校の力を活用して地域の力を強くする（地方創生）と理解している。</p>
委員長	地域の現状についてはいかがか。
構成員	地域が集結する場がないという事ではないが、現状は見えづらい。
構成員	学校運営協議会がその場になると良いかもしれない。
構成員	桶川市におけるデメリットについて
事務局	実体のある組織が整理され、数が減ってしまう可能性がある。取りまとめ役の人数が減ってしまう。
構成員	既存組織を残したままでも良いのでは。
事務局	その通りである。しかしながら、学校関係者評価委員会は、物理的に吸収されてしまうので、そのような意味で、組織が減少となる。
構成員	コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置する必要があるが今後の見通しは。
事務局	<p>設置に向け、</p> <p>平成30年度 準備のための予算</p> <p>平成31年度 実施のための予算</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	平成32年度 充実のための予算 を計上し、取組む必要があると考えている。
委員長	(結果) 次回会議において、スケジュールを含めた具体的な方針を協議する。
(議事) 事務局	②「各種検定等の表彰」について（配布資料に基づき説明）
(協議/ 質疑)	
構成員	実施自治体を参考に、実施する方向で検討できればよい。
構成員	趣旨には賛成であるが、検定は様々あり、明確に説明のできる基準の合理性となると難しい。
構成員	学校で受験できるのは分かりやすいが、個人で受験した場合は、どこまで把握できるか課題がある。
事務局	児童生徒はどこまでを対象とするか。公立学校のみとするか。私立も含めるか。学校のみでは把握しきれず、申請方式についても検討する必要がある。
構成員	検定試験のみならず、郷土芸能も含めたい。学校推薦、地域の推薦、個人の推薦があってもよい。
委員長	(結果) 公立小・中学校を対象とし、実施する方向で、規定や内容、基準については事務局に一任し、教育委員会定例会において審議するものとする。
(議事) 事務局	③「特別支援教育」について（配布資料に基づき報告） ◎桶川市における特別支援学級の設置状況について 第1回総合教育会議の結果を受け、平成29年度から、要請に応じて特別支援学

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
(質疑)	級を全校に設置できる体制が整い、当初の目標が達成できた。
構成員	加納中は設置されていないが。
事務局	設置の希望が現在のところないため。希望があれば、設置できる。
構成員	年度途中の設置は可能か。
事務局	年度途中の設置は、支援員の補助はできても学級の設置は困難である。他校の特別支援学級で補いながら、翌年度からの設置対応となる。対象者には、その旨を説明する。
(議事)	
事務局	(2) 平成29年度桶川市教育委員会の取組みについて（配布資料に基づき説明）
(協議/ 質疑)	
構成員	教育は非常に大きな役割がある。夢へのチャレンジを支援するような大きな目標があってもよい。
	現在実施している航空教室などはとてもよい取組みである。また、以前実施していた命の授業や、新たに映画を取り入れた授業など実施できればよい。
構成員	芸術鑑賞の取組みはよいと思う。全校で実施することは可能か。
事務局	民俗芸能、オペラ等、PTAの主催で取り組んでいる学校もある。学校単位や、学年で絞れば、全校実施は可能であると思われる。カリキュラムに入れることも不可能ではない。
構成員	このようなことは、子供たちには大変刺激になり、組織的に取り組むことが望ましい。
構成員	保護者からは、「子供たちに観てほしくても、土日は忙しくなかなかできない。平日学校でやってもらえるとありがたい。」というような声を聞く。大人が子供たちに伝えたいことを伝える努力が必要ではないか。
構成員	学校の体育館で映画鑑賞はできないか。
事務局	平成29年度も「豊かな心の育成」として、各学校において計画している。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	視聴覚も含め、教育委員会としても学校側に提案していく必要があり、いずれも基本目標の中に入る内容であるため、実践できると思われる。
構成員	コミュニティ・シネマの活用も検討していただきたい。
構成員	子供たちの心を豊かにするための支援の充実は、いじめ対策にもつながり、全てに通ずると思われる。トイレ改修もそのような点では、大変意義のあることである。
委員長	日体大との連携についても、健やかな躰の育成、児童生徒の体力の向上だけでなく、生涯スポーツの支援にもつながる。 平成29年度の桶川市教育委員会の取組みについて、実施できるよう是非ともご協力いただきたい。
	3 その他
事務局	次回の総合教育会議の日程について：平成29年5月を予定
委員長	以上をもって、平成28年第2回総合教育会議を閉会とする。